

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	筑波大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ツクバダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F108110101423
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	茨城県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	世界遺産学インターンシップ
	学部・研究科等名	人間総合科学研究群 世界遺産学学位プログラム
	担当教職員名・役職	黒田乃生・教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	1
	受入企業等数	1
	受入企業等名	白川郷 野外博物館 合掌造り民家園
	インターンシップの分類	7.大学院生を対象とした研究インターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
		1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	修士研究に資する体験をするとともに、就職を希望する組織においてインターンシップを実施することにより、学びから就労へのイメージを構築する。また、受け入れ先の組織にも学生の資質を確認してもらう機会とする。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している
		6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学院 修士1年
		大学院 修士2年
2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 3単位	
2-5.上記回答内容に関する詳細	博士前期課程の2年間に実施する。	
	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している

要素③	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りをやっている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	モニタリングはしていない。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	・ガイダンスでインターンシップ科目の目的の説明 ・履修希望学生の要望、研究内容と受け入れ側の調整
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	特になし
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	特になし
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受け入れ企業担当者に評価してもらっている
	4-3.上記回答内容に関する詳細	履修学生は報告書を作成し、受け入れ担当者は評価とともに学生のインターン中のとりくみについてコメントしてもらう。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	7日以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	最短7日以上、1ヶ月程度まで。一つの企業で断続的に実施することも可能。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
6-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ先は、企業ではなく、世界遺産保全に関する行政機関、研究所、テレビ局、博物館・美術館など多岐にわたる。研修先の選択にあたっては、修士論文研究の主題との関連性に留意し決定している。	

	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.heritage.tsukuba.ac.jp/wp-content/uploads/2021/04/syllabus_20210423.pdf
問い合わせ先	大学等名	筑波大学
	担当部署名	人間総合科学研究群 世界遺産学学位プログラム
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	
	メールアドレス	kuroda.nobu.fw@u.tsukuba.ac.jp